

六浦西地区社会福祉協議会

ふれあいの友

社協だより
第42号
2017年3月1日

発行責任者 六浦西地区社会福祉協議会会长 佐波 弘之
編集者 岡田 須美子

19のつながりのあるまち 六浦西

朝比奈町内会

エステシティ湘南六浦自治会

川町内会

三艘町内会

湘南八景自治会

湘南六浦自治会

大道町内会

高舟台自治会

月坂町内会

西大道町内会

六浦西地区
社会福祉協議会

東川町内会

初穂六浦自治会

南川町内会

六浦荘団地自治会

六浦台団地自治会

六浦高宗台自治会

六浦ハイタウン町内会

谷戸田西六浦友和会

ライオンズ自治会



12,000世帯への福祉活動



平成29年酉年が幕を開けました。酉年は古来より風水の世界では経済が発展するといわれているそうです。六浦西地区社会福祉協議会も12,000世帯住民の福祉向上に一層の努力をしています。

28年度は、フレンドまつり（参加者3,110名）、社明大会（同238名）、ふれあい秋のつどい（同152名）などのイベントも皆さまから好評でした。



フレンドまつりコーヒーの店

さらに、地域の福祉を担う、民生・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、婦人部、

シニアクラブ、青少年指導員、保護司会等に依る様々な催しや六浦地域ケアプラザとの連携による福祉活動も活発に行われました。昨年3月に発足した第三期地域福祉保健計画も各自治会・町内会、行政、学校、各団体等の協力を得て着々と進展しています。

また、急速に進む高齢化社会を意識してその対策にも力を注ぐ所存です。ご存じのとおり“認知症”に関しては大きな問題になっています。

厚労省が発表した推計によれば、団塊の世代が75歳以上となる2025年には認知症患者は700万人前後に達し、65歳以上の高齢者、5人に1人を占める見込みです。

当社協も認知症対策に積極的に取り組んでいます。皆さまのご理解、ご協力をお願い致します。

(六浦西地区社協副会長 山畠耕三)

フレンドまつりが行われました



6月18日、六浦西地区フレンドまつりが今年もにぎやかに開催されました。気温34度と真夏を思わせる空の下、3,110人の来場者がありました。体育館では、幼稚園児・保育園児・小学生・地域の子供たちのパフォーマンスで大いに盛り上りました。11時になり皆さんお待ちかねの、グラウンドでのイベントやお店の開店です。長蛇の列になったのは、やはりかき氷の店。手持ちのペットボトルの水がお湯のようになる状況では、まあ当然かも。

今年から食中毒に対して保健所の決まりがより厳しくなり、店頭には「持ち帰り禁止」の表示を掲げて注意を呼びかけました。



昼食時間を持んで、午後には大道中学校のバトン部と吹奏楽部のコラボレーションがあり、プロ顔負けの演奏、演技に拍手の嵐でした。最後は来場者お楽しみの抽選会です。読み上げられる番号に一喜一憂。お米、オリーブオイル、お菓子などをゲットしあちこちで笑顔が見られました。とにかくにも、けが人が出なかつたこと、最も心配された熱中症の発症もなく、無事フレンドまつりは幕を閉じました。(六浦西地区社協広報 岡田須美子)



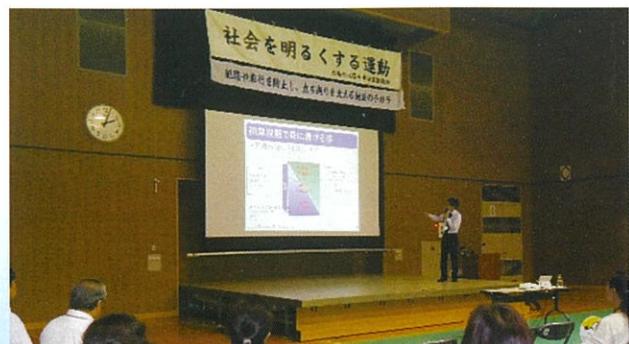
社明大会開催



9月3日、六浦地区センター体育室に、行政、教育関係、福祉関係等のご出席をいただきて、六浦西地区社協「社明大会」が開催されました。

今回は「スマホ時代の子供たち～その実態と大人たちの役割～」と題して、家庭や教育の場の諸課題・対応などについて、インターネット利用アドバイザー・中島尚樹氏から分かりやすい講話ををしていただきました。小・中学生の保護者が大半で、皆、我が身、我が家のことにつき換えて聞き入っていました。

子供たちを取り巻く状況が混沌としている昨今、意義あるテーマでの内容であったことは間違ひありません。(六浦西地区社協広報 岡田須美子)



ふれあい 秋のつどい

~11月30日~

出発



8:30 5か所からバスに乗車

昼食「鈴廣」へ



2Fでお食事を
とる



1Fには土産物が
いっぱい。
皆、お買物に夢中

小田原市「生命の星・地球博物館」

鎌倉・西湘バイパス



大きな地球
火山と噴火があった
ところが点灯していた



帰着



18:00 解散

横横道路・小田原厚木道路

ビール3種・ワインを試飲
おつまみもあって満足。
SHOPでお買物



(六浦西地区社協広報 岡田須美子)

28年度は小田原方面へ行きました。まず、地球の神秘に驚き、次はお腹を満たしてのお買物。そして、アルコールを存分?飲み、いい気分でまたお買物をしました。快晴の一日で、雪を被った富士山もくっきり見え、オレンジ色の紅葉も見られて、秋を満喫した一日でした。

地区推進連絡会 報告

「つながりのあるまちづくりを目指して」



六浦西地区の平成28年度・秋季地区推進連絡会が11月29日、六浦地区センターで開催されました。金沢区から國原区長ほか18名、地域から自治会・町内会・福祉団体等が出席し、総勢75名による会議となりました。

連絡会は「誰もが安心して、健康で暮らせるまち六浦西」をめざし、それへの対策を考えいくことがあります。

まず、金沢区長から区の現状と協働の取り組みについて「金沢区は人口減少、高齢化や出生率の低下などが進んでいる。この地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療、介護、住まい等の生活支援や、それらを支える地域包括ケアシステムの構築が重要」とのお話がありました。

次に、地域から湘南八景自治会・南川町内会・六浦ボランティアネットワーク・六浦あけぼの、の活動紹介があり、高齢者への日常生活支援、コミュニティづくり、健康づくりや予防、自主防災等への取り組みの報告がありました。

また、六浦地域ケアプラザ内藤所長から、「認知症800万人時代といわれている昨今、六浦西地区でも認知症高齢者の増加が見込まれる。まちぐるみで認知症への理解を深めていき、認知症サポーター養成も必要」との意見があり、今後に有用な会議となりました。(六浦西第二地区民児協 城戸光男)



研修会・懇親会 ~1月28日~



今年度も湘南八景自治会館で行われ、國原金沢区長をはじめ行政の方々、学校関係、地域を支える団体の方など100名が集いました。六浦西地区社協から、第三期地域福祉保健計画が各部門においてどのように進められているかのアンケートに基づく進捗状況が発表されました。これに関連して、金沢区福祉保健センター新井部長から、「滑り出しとしては順調である。この取り組みを浸透させていくには“きっかけ”が大切で、分かりやすいところから進めていっ

て“効果が実感できるようにすること”が大切」との講評をいただきました。

その後懇親会に移り、参加者が互いに交流を深めました。(六浦西地区社協広報 岡田須美子)



「ふれあいの友 第42号」を発行することができました。今号は、28年度の六浦西地区社協と地域の皆さんとの関わりがある事業、行事を取り上げました。

★この広報誌は赤い羽根共同募金の助成金で作成されています。